



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 田谷

コード番号 4679 URL <http://www.tava.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田谷 和正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 兼 執行役員経営企画推進室長 (氏名) 田代 久士

TEL 03-5772-8411

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,807	0.7	△228	—	△227	—	△264	—
27年3月期第2四半期	5,767	△2.4	△334	—	△337	—	△263	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△52.87	—
27年3月期第2四半期	△52.79	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	6,999	2,694	38.5	539.18
27年3月期	7,228	2,958	40.9	592.05

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 2,694百万円 27年3月期 2,958百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案し決定してまいります。

## 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,020	2.2	△95	—	△96	—	△160	—	△32.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	5,100,000 株	27年3月期	5,100,000 株
28年3月期2Q	102,946 株	27年3月期	102,936 株
28年3月期2Q	4,997,061 株	27年3月期2Q	4,997,105 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策の効果を背景に企業収益や雇用情勢は改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、海外景気の減速や円安による物価上昇の影響を受け、個人消費および景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

美容業界におきましては、物価高に伴う消費マインドの停滞や、美容業界の店舗間競争の激化、また人口動態の影響による美容師確保難など、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社といたしましては『お客様が毎日どこでも綺麗でいただける』ために、全社員が行動し、「すべてはお客様のために」という当社経営の原点を徹底することで、「失客をなくし増客を計り」、お客様に喜んでいただくサロンづくりを目指し、当社の持つ「お客様に対する特典」をすべてのお客様にお伝えしご利用を促し、また当社オリジナルの商品・サービス等の提供に努めてまいりました。

店舗につきましては、美容室2店舗 (TAYA 神戸元町店、TAYA テラッソ姫路店) を新規出店いたしました。一方で美容室5店舗 (TAYA 神戸店、TAYA 広島ACCES店、TAYA 丸井吉祥寺店、Shampoo 鶴見店、クレージュ・サロン・ポーテ 松戸店) を閉鎖し、当第2四半期会計期間末の店舗数は、美容室146店舗と小売店1店舗となりました。

以上の結果、当社の第2四半期累計期間の業績は、売上高5,807百万円 (前年同期比0.7%増) となり、営業損失228百万円 (前年同期は営業損失334百万円)、経常損失227百万円 (前年同期は経常損失337百万円) となり、四半期純損失は264百万円 (前年同期は四半期純損失263百万円) となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は6,999百万円となり、前事業年度末と比べて229百万円減少いたしました。

流動資産の残高は2,247百万円となり、前事業年度末と比べて117百万円減少いたしました。固定資産の残高は4,751百万円となり、前事業年度末と比べて111百万円減少いたしました。主な増加は、現金及び預金の増加61百万円、主な減少は有価証券の償還による減少100百万円、売掛金の減少59百万円、店舗閉鎖による敷金及び保証金の減少67百万円、店舗閉鎖及び減価償却による建物の減少47百万円であります。

当第2四半期会計期間末の負債総額は4,304百万円となり、前事業年度末と比べて34百万円増加いたしました。

流動負債の残高は2,629百万円となり、前事業年度末と比べて378百万円増加いたしました。固定負債の残高は1,675百万円となり、前事業年度末と比べて344百万円減少いたしました。主な増加は、長短借入金の純増163百万円、主な減少は、社債の償還50百万円、支払手形及び買掛金の減少20百万円、未払法人税等の減少19百万円であります。

当第2四半期会計期間末の純資産は2,694百万円となり、前事業年度末と比べて264百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末40.9%から38.5%に減少いたしました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は(以下「資金」という。)前事業年度末に比べ63百万円増加し、1,136百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果使用した資金は85百万円(前年同四半期は31百万円の獲得)となりました。

これは主に、税引前四半期純損失236百万円、法人税等の支払60百万円があったことに対し、減価償却費132百万円、売上債権の減少60百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果獲得した資金は47百万円(前年同四半期は180百万円の獲得)となりました。

これは主に、投資有価証券の償還による収入100百万円、店舗閉鎖にともなう敷金及び保証金の回収による収入51百万円、新規出店及び店舗改装にともなう有形固定資産の取得による支出76百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は101百万円(前年同四半期は228百万円の使用)となりました。

これは主に、長短借入金の純増163百万円、社債の償還50百万円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、個人消費の先行き懸念を鑑み、平成27年10月23日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表いたしました。これによる通期業績見通しは、売上高12,020百万円(前事業年度比2.2%増)、営業損失95百万円(前事業年度は営業損失421百万円)、経常損失96百万円(前事業年度は経常損失409百万円)、当期純損失160百万円(前事業年度は当期純損失892百万円)となる見込みであります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はございません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はございません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はございません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,397,762	1,458,906
売掛金	524,834	465,069
有価証券	100,000	—
商品	63,042	67,775
美容材料	24,910	30,260
その他	255,139	226,081
貸倒引当金	△745	△745
流動資産合計	2,364,944	2,247,348
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	1,420,710	1,373,694
土地	1,375,445	1,375,445
その他 (純額)	34,261	41,343
有形固定資産合計	2,830,417	2,790,483
無形固定資産	40,700	38,407
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,949,544	1,881,764
その他	43,033	41,130
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	1,992,574	1,922,892
固定資産合計	4,863,692	4,751,783
資産合計	7,228,637	6,999,132

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483,199	462,286
短期借入金	86,800	113,300
1年内償還予定の社債	70,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	386,577	725,911
未払法人税等	79,092	59,477
賞与引当金	204,996	194,118
資産除去債務	17,832	9,642
その他	921,947	1,024,560
流動負債合計	2,250,445	2,629,296
固定負債		
社債	60,000	40,000
長期借入金	1,125,138	922,432
退職給付引当金	382,718	390,615
資産除去債務	205,201	203,074
その他	246,643	119,414
固定負債合計	2,019,701	1,675,536
負債合計	4,270,147	4,304,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,180	1,480,180
資本剰余金	1,702,245	1,702,245
利益剰余金	△64,445	△328,628
自己株式	△159,489	△159,497
株主資本合計	2,958,489	2,694,299
純資産合計	2,958,489	2,694,299
負債純資産合計	7,228,637	6,999,132

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,767,783	5,807,666
売上原価	5,338,495	5,276,690
売上総利益	429,287	530,975
販売費及び一般管理費	764,121	759,152
営業損失(△)	△334,834	△228,176
営業外収益		
受取利息	1,470	294
不動産賃貸料	7,042	6,598
その他	11,442	11,827
営業外収益合計	19,954	18,719
営業外費用		
支払利息	12,856	11,002
不動産賃貸費用	4,794	4,612
その他	4,537	2,807
営業外費用合計	22,188	18,422
経常損失(△)	△337,067	△227,878
特別損失		
固定資産除却損	4,259	8,621
特別損失合計	4,259	8,621
税引前四半期純損失(△)	△341,327	△236,500
法人税、住民税及び事業税	30,376	30,407
法人税等調整額	△107,921	△2,725
法人税等合計	△77,544	27,682
四半期純損失(△)	△263,783	△264,182



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失 (△)	△341,327	△236,500
減価償却費	147,817	132,427
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,779	△10,878
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	131	7,896
受取利息	△1,470	△294
支払利息	12,856	11,002
固定資産除却損	4,259	8,621
売上債権の増減額 (△は増加)	113,950	60,255
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△24,180	△10,359
仕入債務の増減額 (△は減少)	56,809	△17,608
その他	102,446	27,820
小計	63,514	△27,615
利息の受取額	1,250	1,891
利息の支払額	△12,669	△11,262
退店補償金の受取額	5,159	12,265
法人税等の還付額	3,987	-
法人税等の支払額	△29,687	△60,593
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,555	△85,314
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△258,845	△284,565
定期預金の払戻による収入	456,046	287,054
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	△49,000	△76,899
敷金及び保証金の差入による支出	△304	△5,713
敷金及び保証金の回収による収入	38,925	51,844
その他	△5,875	△24,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	180,945	47,299
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	214,000	252,000
短期借入金の返済による支出	△217,000	△225,500
長期借入れによる収入	-	353,000
長期借入金の返済による支出	△224,180	△216,372
リース債務の返済による支出	△11,477	△10,638
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
自己株式の取得による支出	-	△7
預り保証金の受入による収入	169,200	-
配当金の支払額	△109,298	△833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△228,755	101,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	74	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,179	63,633
現金及び現金同等物の期首残高	1,178,106	1,072,701
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,161,926	1,136,335

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。